

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 SIL 札幌日本語学校

1. 事業名称

北海道における日本語教育推進プロジェクト ― 地域多文化共生を目指して

2. 事業の目的

当校の過去3年にわたる文化庁委託事業の継続性という観点から、今年度も外国人生活者がより地域に根差せるよう、一層、質の高い生活環境にて生活ができるよう、日本語教育推進プロジェクトを行う。語学としての日本語のみならず、少子高齢化、地球規模の異常気象による災害に対処できるような内容を盛り込んだ日本語教室、日本語指導人材育成、日本語教材作成などを通じて、外国人の命を守り、外国人の生活の質の向上を目指すべきであると思われる。彼らが日本社会を理解し、より容易に地域に溶け込む素地を作ることが、多文化共生社会の実現、ひいては日本人にとっても暮らしやすい社会の実現につながるとと思われる。

3. 事業内容の概要

今年度の当団体の講座のキーワードは介護と防災である。

「日本語教室の設置・運営」では親子で日本語を学ぶ教室を開催するが、子供には主に学習指導をし、地震などを知らない子供たちには防災の知識も教える。親世代には、日本語の基礎と今回の事業の取り組みの一つである「介護・防災の知識や言葉」を盛り込んで指導。「日本語教育を行う人材の養成・研修の実施」においても、これらの知識や言葉を教える場合にどう教えるかをも考慮に入れて、実際に研修をしていく。それらの教材となるものを「日本語教育のための学習教材の作成」取組で実施していきたい。

4. 運営委員会の開催について

回数	開催日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年 7月7日 (土)13:30 ～17:30	4時間	SIL札幌 日本語学 校	島治美 木本みゆき 外山静江 林真知子 Petia佐々木	・各講座の方 針 ・募集につい て ・教材作成の 方針	講座方針の確認、後援者の選定、人材養成・日本語教室の日程、会場を決定し、募集方法・チラシ記載内容について検討した。周知方法についても前年度を参考にし、話し合う。編集委員を決定する。

2	平成 24 年 7 月 28 日 (土) 12:30 ～17:00	4 時間 半	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 鈴 木 瞬 木 本 み ゆ き 外 山 静 江 林 真 知 子 遠 山 樹 彦	・ 講 座 内 容 に つ い て ・ 開 講 準 備 手 順 に つ い て	講座の内容、主に介護の分野について 検討し、介護に関する基礎的な知識を 共有し、実体験を行った。 各講座の準備手順の検討。
3	平成 24 年 8 月 4 日 (土) 12:30 ～ 17:00	4 時間 半	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 木 本 み ゆ き 林 真 知 子 外 山 静 江 西 山 順 子 Petia 佐々木 遠 山 樹 彦	・ 日 本 語 教 室 の 開 講 に つ い て ・ 研 修 講 座 の 募 集 要 項 に つ い て	研修講座の指導内容・募集詳細につい て最終決定。各講座の準備手順の検 討。
4	平成 24 年 9 月 8 日 (土) 12:30 ～ 16:30	4 時間	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 木 本 み ゆ き 外 山 静 江 林 真 知 子	・ 研 修 講 座 募 集 経 過 に つ い て ・ 研 修 講 座 内 容 に つ い て	研修講座募集経過報告から開講準備 手順を再検討し、各回の担当を決め た。さらに、各回の内容と模擬実習の方 法について検討した。
5	平成 24 年 10 月 3 日 (水) 13:30 ～ 17:00	3 時間 30 分	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 木 本 み ゆ き 外 山 静 江 林 真 知 子	・ 研 修 講 座 開 講 手 順 に つ い て ・	研修講座開講手順について最終確認を 行った。特に旭川会場について参加者 のニーズを確認し、検討した。教材作成 の進行状況を確認
6	平成 24 年 10 月 19 日(金) 13:00 ～ 18:00	5 時間	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 鈴 木 博 子 木 本 み ゆ き 西 山 順 子 林 真 知 子 外 山 静 江	・ 研 修 講 座 運 営 状 況 の 報 告 ・ 日 本 語 講 座 の 日 程、会 場 の 決 定	研修講座の報告を受け、再度内容の修 正を図るため意見交換。教材進行状況 確認・日程確認
7	平成 24 年 11 月 10 日(土) 13:00 ～ 18:00	5 時間	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 木 本 み ゆ き 外 山 静 江 林 真 知 子 西 山 順 子	今後の講座運 営について	研修講座の模擬授業内容検討・モデル 学生策定。親子日本語教室参加者と指 導のグループ分けについて
8	平成 24 年 12 月 18 日(火) 12:00 ～	4 時間	SIL 札 幌 日 本 語 学 校	島 治 美 木 本 み ゆ き 外 山 静 江 林 真 知 子	親子日本語教 室について ・ 人 材 養 成 講 座 アンケート	シフト・担当・指導方針・指導内容確認。 指導者・補助者リストアップ・決定。次年 度の事業についてのアイディアを明確 化し、親子の日本語教室で今年度にど

	16:00			Petia佐々木 遠山樹彦	のフィードバック	のような方針が取れるか検討。
9	平成 25 年 1 月 15 日 (火) 13:30 ~ 17:40	4時間 10 分	SIL 札幌 日本語学 校	島治美 木本みゆき 外山静江 林真知子 西山順子	日本語教室を 含む事業全般 の報告・まと め・フィードバ ック	今年度の事業実施態勢についての振り返り・次年度の事業についても方向性を確認。教材の進捗状況と完成に向けての日程確認

【写真】運営委員会風景



5. 日本語教室の設置・運営

- (1) 講座名称 親子で学ぼう日本語 ― 子どものクラスと両親のクラス
- (2) 目的・目標

昨年度の講座では、回が増えるごとに子供たちが屈託のない、安心した笑顔を見せるようになりそれがとても印象的であった。高校受験生も二名いたがそれぞれ合格でき、皆、来年も講座があったら、ぜひ来たいと言っていた。居場所づくり、学習指導は成功したと安堵したものである。ただ、冬期は、市内中心部であっても寒さゆえに、外出は好まれなく、小学校の協力をいただき、空き会議室にてクラスをした。今年度は夏休みの期間も設定し、外国人子供たちに健全、かつ有意義な夏休み、冬休みを過ごしてもらいたいと計画している。日本語ビギナーの親には初級日本語の指導、中級者にはごみの出し方、分別など地域で問題を起こさずに暮らしていけるような日本語を指導したが、今年度は日本人伴侶の親世代に対する介護の問題、語彙、表現も取り入れて指導をしていく。

- (3) 対象者 市内在住外国人親子
- (4) 開催時間数(回数) 1. 5～2 時間/ 回 (全 15 回)
- (5) 使用した教材・リソース
標準的なカリキュラム案、教材例集、
- (6) 受講者の総数 25 人
(出身・国籍別内訳) ロシア人5人、モンゴル人1人、インドネシア人4人、バングラデシュ人2人、中国人2人、ボリビア人2人、USA9人
- (7) 受講者の募集方法
昨年度参加者、ボランティア教室参加者への口頭での連絡、チラシ配布、ウェブサイト掲載

(8) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要
1	平成 24 年 7 月 26 日 9:30～11:30	2 時間	北海道立道民活動センター, #810 会議室	2	中国(2 人)	親「便利な日本語を学ぶ」;子ども「教科のサポート」	親「みんなの日本語」からの復習;子ども 国語 ワークブックを使用し、敬語について、学習をす
	平成 24 年 7 月 26 日 9:30～11:30	2 時間	幌北街づくりセンター	2	バングラデシュ(2 人)	親「便利な日本語を学ぶ」;子ども「教科のサポート」	親「みんなの日本語」から復習;子ども 国語の漢字プリント、社会の地理プリント、算数プリントを使用し学習する
2	平成 24 年 7 月 27 日 9:30～11:30	2 時間	北海道立道民活動センター, #810 会議室	1	中国(1 人)	「教科のサポート」	子ども「言葉と表現」のテキストを使い、既習文法の復習をする
	平成 24 年 7 月 27 日 9:30～11:30	2 時間	幌北街づくりセンター	2	バングラデシュ(2 人)	「教科のサポート」	子ども 国語のプリントを使用し、漢字の学習、社会のプリントによる地理の学習、算数プリントを学習する
3	平成 24 年 8 月 1 日 9:30～11:30	2 時間	北海道立道民活動センター, #810 会議室	5	ロシア(5 人)	親「便利の日本語の基本を学ぶ」	親子「生活の漢字」の漢字を学習する

	平成 24 年 8 月 1 日 9:30～11: 30	2 時 間	幌北街づくり センター	4	インドネシア (3 人),中国 (1 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「教科のサポ ート」	親 「みんなの日本語」から復習; 子ども 国語プリント、公文プリン トを学習する
4	平成 24 年 8 月 2 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #110 会議室	5	ロシア(5 人)	「緊急時の日本 語と生活の中の 漢字を学ぶ」	親子 緊急時の日本語、「生活 の漢字」の漢字学習
	平成 24 年 8 月 2 日 9: 30～11:30	2 時 間	幌北街づくり センター	9	インドネシア (4 人),中国 (1 人),バン グラデシュ(2 人),ボリビア (2 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「教科のサポ ート」	親 可能表現、授受表現学習 子ども 国語、理科プリントを学 習する
5	平成 24 年 8 月 3 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #810 会議室	5	ロシア(5 人)	生活の中の漢 字を学ぼう	親子 「生活の漢字」の漢字学習
	平成 24 年 8 月 3 日 9:30～11: 30	2 時 間	幌北街づくり センター	8	インドネシア (3 人),中国 (1 人),バン グラデシュ(2 人),ボリビア (2 人)	親「自分のこと を話そう」子ども 「教科のサポー ト」	子ども「漢字大好き」漢字学習 作文学習 親 一般動詞文で話す
6	平成 24 年 12 月 20 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #530 会議室	4	ロシア(1 人), US(3 人)	親「便利の日本 語の基本を学 ぶ」;子ども「日 本語で遊ぼう」	親「みんなの日本語」23課を学 習 日本語の挨拶 数字の読み方を 学ぶ
7	平成 24 年 12 月 21 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 5 会議 室	2	ロシア(1 人), US(1 人)	「便利の日本語 の基本を学ぶ」	「みんなの日本語初級で読めるト ピック25」23課を学習
	平成 24 年 12 月 21 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 6 会議 室	3	US(3 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「日本語で遊 ぼう」	親「みんなの日本語」23課を学 習 日本語の挨拶 数字の読み方を 学ぶ

8	平成 24 年 12 月 26 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #530 会議室	2	ロシア(2 人)	「～時を学ぶ」	「～とき」の使い方について学ぶ ①
	平成 24 年 12 月 26 日 10:00～ 11:30	1 時 間 30 分	札幌市立幌北 小学校会議室	14	インドネシア (1 人),バン グラデシュ(2 人),ボリビア (2 人),US(8 人),モンゴル (1 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「教科のサポ ート」;「日本語 で遊ぼう」	子ども 国語プリント 算数プリン トを学習する 親 数字の読み方 形容詞 「～たい」について勉強する
9	平成 24 年 12 月 27 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 5 会議 室	2	ロシア(2 人)	「便利な日本語 を学ぶ」	「みんなの日本語」24課を学習 する
	平成 24 年 12 月 27 日 10:00～ 11:30	1 時 間 30 分	札幌市立幌北 小学校会議室	11	インドネシア (2 人),中国 (1 名),バン グラデシュ(2 人),ボリビア (2 人),US(3 人),モンゴル (1 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子 ども「教科のサ ポート」「たのし く日本語の一步 を勉強しよう」	親 数字の読み方 形容詞 「～たい」について勉強する, 子 ども 国語プリント 算数プリン ト 社会プリントを学習する
10	平成 24 年 12 月 28 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 5 会議 室	3	ロシア(1 人), US(2 人)	「便利な日本語 を学ぶ」子ども 「語彙を増やそ う」	「1006字の正しく美しい書き方」 の単語について学ぶ,「みんなの 日本語」14課を学ぶ
	平成 24 年 12 月 28 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 6 会議 室	9	ボリビア(1 人),US(7 人),中国(1 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「教科のサポ ート」;「日本語 で遊ぼう」	子ども 国語プリント 算数プリン ト 社会プリントを学習する 親 「みんなの日本語」14課を学 ぶ
11	平成 25 年 1 月 4 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 5 会議 室	2	ロシア(1 人), 中国(1 人)	親「便利の日本 語の基本を学 ぶ」;子ども「教 科のサポート」	「1006字の正しく美しい書き方」 の単語について学ぶ 冬休み宿題国語プリントを学習 する

12	平成 25 年 1 月 7 日 9:30～11: 30	2 時 間	札幌市民ホー ル、第 5 会議 室	2	ロシア(2 人)	「便利の日本語 の基本を学ぶ」	「みんなの日本語」24課を学習 する
	平成 25 年 1 月 7 日 10:00～ 11:30	1 時 間 30 分	札幌市立幌北 小学校会議室	8	インドネシア (2 人),バン グラデシュ(2 人),US(3 人),モンゴル (1 人)	「教科のサポー ト」	子ども 国語プリント 算数プリン トを学習する 絵日記を書く
13	平成 25 年 1 月 8 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #320 会議室	2	ロシア(2 人)	「便利の日本語 の基本を学ぶ」	「みんなの日本語」25課 26課 を学習する
	平成 25 年 1 月 8 日 10:00～ 11:30	1 時 間 30 分	札幌市立幌北 小学校会議室	5	インドネシア (2 人),バン グラデシュ(2 人),モンゴル (1 人)	「教科のサポー ト」	子ども 国語プリント 算数プリン トを学習する
14	平成 25 年 1 月 9 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #320 会議室	3	ロシア(2 人), ボリビア(1 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子 ども「教科のサ ポート」	「みんなの日本語」31、32課を 学習する 子ども 国語プリント 漢字復習 算数プリント 数字の読み方を学 ぶ
15	平成 25 年 1 月 10 日 9:30～11: 30	2 時 間	北海道立道民 活動センター, #530 会議室	2	ロシア(2 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」	「みんなの日本語」28 課を学 習する
	平成 25 年 1 月 10 日 10:00～ 11:30	1 時 間 30 分	札幌市立幌北 小学校会議室	11	インドネシア (2 人),バン グラデシュ(2 人),US(4 人),モンゴル (1 人), ボリ ビア(2 人)	親「便利な日本 語を学ぶ」;子ど も「教科のサポ ート」	子ども 冬休みの算数宿題 国 語の漢字宿題を学習する 親 「みんなの日本語」14課を学 習する

(9) 特徴的な授業風景)

平成 24 年 12 月 27 日 10:00～11:30 札幌市立幌北小学校図書室にて

T君が風邪気味で30分遅れてきた。高学年の5人はかなりの日本語は理解できるのだが、宿題の漢字の問題に苦戦していた。読み方を教えられても意味が取れず、又書き順にも苦労をしていたが、集中力は素晴らしいものがある。外国人補助者(N2取得)は、語彙の説明が日本語でうまくできなかったようだが、同じ外国人だということで子どもたちが安心して様子だった。

来日半年のMちゃんは、宿題の指示文がわからず。このレベルだと、それを説明し、理解させるためには、学習者の母語をより多く使用するのが、最良ではないかと思われた。

Aファちゃんはとてもおとなしいのだが、自主性があり、ゆっくりペースで桁数の多い四則計算に取り組んでいた。

来日1年のS子ちゃんがこのクラスで一番緊張しているようだったが、T先生がつきっきりで国語指導。恥ずかしそうにしながらも声を出して読むこともでき、最後のゲームでは心から楽しそうな笑顔を見せるようになった。

Hシュウちゃんは一年前からこの講座に参加。国語の読みはかなり上手になってきたのだが、内容理解に関しては集中して解答ができなかった。日本の生活にすっかりなじみ、不安に思うようなことはなさそうな様子になってきた。講座内でいじめの問題についても話題が出た。

Cさん、Eさんはほとんど学習経験はなく、日本語を聞きかじっている程度だったため、本人達から質問がたくさん出た。よって初歩の日本語、生活に使用できる日本語の指導をすることになった。

(10) 目標の達成状況・成果

過去の講座に参加した子どもたちもいたため、雰囲気はとてもリラックスしていたし、小学校の図書室を借りることができたため、子供たちの笑顔がはじける居場所として最適であった。

(11) 改善点について

短い時間だけでは、日本語能力の伸びの観察など困難であるが、夏、冬と通して講座を開けると、経過観察ができて好ましいと思われる。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 **あわてないで 3**

(2) 目的・目標

札幌市内、後志支庁内、上川支庁内に在住している外国人に、暮らしにかかわる日本語を指導するための意識と教え方の基本をともに学んでいきたい。医療・介護をも題材に取り、日本語指導の基本的指導スキル獲得を目指す。

(3) 対象者 日本語ボランティア希望者（経験の有無を問わず）

(4) 開催時間数(回数) 30 時間 (全10 回)

(5) 使用した教材・リソース

『みんなの日本語』

当校作成「こんな時どうしますか」「災害と介護の日本語を学ぶ・教える」

旭川市発行「Enjoy Living in Asahikawa」

札幌市発行「くらしのガイド」他 札幌市配布各種パンフレット など

(6) 受講者の総数 20 人（日本人20 人）

(7) 受講者の募集方法

道内各市町村、市内公共施設への募集チラシ配布、及び札幌市内、近郊各大学国際交流センター、日本語ボランティアグループへの持参、郵送、周知。旭川市国際交流委員会ウェブサイトへの掲載、札幌国際プラザ News letter、What's on in Sapporo への掲載など。

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	取組のテーマ	授業概要
1	平成24年10月6日 13:00～16:00	3時間	旭川市国際 交流センター	「やさしい日本語」を使って地震に対処する	①あいさつ ②「やさしい日本語」の目的と概要について ③「地震」を取り上げ、緊急時の対処の仕方、伝え方を考える
2	平成24年10月13日 9:00～12:00	3時間	北海道立道民	「やさしい日本語」を使って地震に対処する	①あいさつ ②「やさしい日本語」の目的と概要について ③「地震」を取り上げ、緊急時の対処の仕方、伝え方を考える
3	平成24年10月20日 13:00～16:00	3時間	旭川市国際 交流センター	外国語の体験授業と避難・避難所について	①外国人による外国語の体験授業 ②「避難」をトピックに避難時や避難所での対処の仕方、表現の伝え方を考える
4	平成24年10月27日 9:00～12:00	3時間	札幌市民 ホール 第3会議室	避難・避難所の日本語と模擬実習について	①「避難」をトピックに避難時や避難所での対処の仕方、表現の伝え方を考える ② 模擬実習のためのモデル授業「介護の食事について」 ③模擬
5	平成24年11月3日 13:00～16:00	3時間	旭川市国際 交流センター	介護の食事の日本語、ない形の使用表現	①外国人に伝える際の注意点 ②「食事」の場面での介護の日本語について考える ③ ない形について確認する
6	平成24年11月10日 9:00～12:00	3時間	札幌市民 ホール 第3会議室	外国語の体験授業、介護の食事の日本語、て形使用表現	①「食事」の場面での介護の日本語について考える ②外国人による外国語の体験授業 ③て形について確認
7	平成24年11月17日 13:00～16:00	3時間	旭川市国際 交流センター	模擬実習①、介護入浴時の日本語、た形使用表現	① 入浴時における介護の日本語について考える ② 受講者による模擬実習（第一回） ③フィードバック ④た形について確認
8	平成24年11月24日 9:00～12:00	3時間	北海道立道民	介護入浴時の日本語、た形使用表現、模擬実習①	①た形について確認 ②受講者による模擬実習（第一回） ③フィードバック ④入浴時における介護の日本語に
9	平成24年12月1日 13:00～16:00	3時間	旭川市国際 交流センター	模擬実習②、辞書形使用の表現	①受講者による模擬実習（第二回） ②フィードバック ③辞書形について確認 ④まとめ
10	平成24年12月8日 9:00～12:00	3時間	札幌市民 ホール 第3会議室	模擬実習②、辞書形使用の表現	①辞書形について確認 ②受講者による模擬実習（第二回） ③フィードバック ④ まとめ

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

①平成24年10月6日(土)

「やさしい日本語」について。どんな語彙を使用するか。外来語、カタカナ語について。
話すスピードについて。

外国人用地震災害時100用語の理解について。

初歩の日本語の文構造について

旭川市発行「Enjoy Living in Asahikawa」から、災害時の言葉を選んで言い換え練習。

②平成24年11月10日(土)

模擬実習の説明。外国人による直接法指導(スウェーデン語)およびそのフィードバック。

想定できる介護時の場面。その時に使用する主なる日本語について。

(10) 目標の達成状況・成果

今年度初めて旭川でも講座を開講した。受講者数は多くはなかったが近隣の地区からの参加もあり、大変熱心な受講生であった。ボランティアで教える場合、どのような言葉・文を使用するのかという基礎を学んだ。模擬授業も、生活に根ざした題材をとり、学習補助者に有意義だった。5回の講座だったが、地方ではなかなか学べる講座がないということで、好評であった。

(11) 改善点について

道内の日本語ボランティアにとっての必要な知識と技術に関してもう少しリサーチができればと考える。又、チラシ等を送付しても、講座の周知が、うまくなされていないと感じる。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 「災害と介護の日本語を学ぶ・教える」

(2) 対象 : 日本語ボランティア、指導者、外国人学習者

(3) 目的・目標

生活者としての外国人にも高齢化がみられる。介護・ヘルパー職を目指す者を対象にした教材以外の、シンプルで、かつやさしい日本語で理解ができる教材が必要である。そのため、医療関係者との会話も含む、介護に必要な言葉や知識を盛り込んだもの、それに加え、異常気象、災害に対処できるような知識や言葉も加えた教材作成を計画した。

(4) 構成 第一部「災害に対処する」 第二部「介護を学ぶ」

(5) 使い方

・対象レベル: 初級終了者以上

・対象言語: 日本語

・学習者の人数に関わりなく使用可能。防災、介護等になじみのない学習者に対するマンツーマンの指導にも使用可能。会話・練習とも表題タイトルに沿った内容を盛り込んでおり、ふり仮名もつけてあるため、表現・文型の独習も可能。

- ・中級の学習者の場合、一課につき3時間程度（ロールプレイも入れると、より効果的だと考えられる）
- ・今回の教材に地方自治体発行のパンフレットや、介護の場合、実際に使用すると便利なものも活用する。

（6） 具体的な活用例

- ①通常の教室授業内で使用 ②防災訓練の前に配布して使用
- ③日本語ボランティアのためのクラスで使用

8. 事業に対する評価について

（1） 事業の目的

おおむね達成されたと思われる。

（2） 目標の達成状況・事業の成果

H21年度よりさまざまな内容の講座・教材作成に取り組んできて、地域の外国人の生活がある程度把握できるようになったと思われる。

（3） 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

カリキュラム案の健康・医療・防災に関する部分を詳細に検討し、対象者のニーズを日常生活の日本語から発展・拡充する方向で、今回の教材を作成することとした。災害が少なく防災意識のあまり高くない北海道という地域性を鑑み今後、カリキュラム案をたたき台にし、トピックをより細分化した教材を作成していければ、外国人生活者にとって益が多いと考えられる。

（4） 地域の関係者との連携による効果、成果 等

介護福祉士や北海道社会福祉協議会などとの話し合いで外国人の医療・老後の問題点等の理解を深めることができた。又、ボランティア講座講師の依頼を受け、外国人生活者が参加する防災のワークショップなどができ、学習の場を広げられた。又、市内ボランティアグループとの連携が一層深まった。

（5） 改善点、今後の課題について

災害に関しては多くの場で、教材は作成されているようだが、初級学習者への指導内容としては、レベルに合ったものを作成するのは大変難しい。それ以上に、介護となると災害時の対処法より語彙などがもっと難解になり、対象学習者のレベルはかなり上がってしまった。高齢となり、老後に不安を抱いている外国人在住者への対応をおろそかにしないために、又、外国人生活者にも医療、介護など生活に必要な日本語を少しでも習得してもらうために、今後も問題点を洗いだし、検討を加えたい。

（6） その他参考資料

札幌市 配布「なるほど身になる介護保険」